

NetSHAKER Red-Mail (冗長化構成)システムアップデート手順書

安川情報システム株式会社

1. はじめに

1.1. 本書について

本書は、冗長化構成で運用中の *NetSHAKER Red-Mail* (冗長化構成) へのシステムアップデートの手順を記載したものです。

本書の内容は、以下の機種に適用されます。

商品名	型式番号
<i>NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0</i>	NAHN810Z、NAHN812Z、NAHR490Z
<i>NetSHAKER Red-Mail Ver.2.0 AD</i>	NAHR492Z

作業にあたりましたは、各製品のマニュアルをご確認の上、作業を実施してください。

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 設定マニュアル

NetSHAKER Red-Mail Ver.1.0 冗長化構成設定マニュアル

NetSHAKER Red-Mail Ver.2.0 AD 設定マニュアル

NetSHAKER Red-Mail Ver.2.0 AD 冗長化構成設定マニュアル

2. システムアップデート適用手順

2.1. 適用手順

NetSHAKER Red-Mail のシステムアップデート適用にあたっては 冗長化構成をいったん無効にして、**2台とも** システムアップデートしていただく必要があります。以下の手順に従ってシステムアップデートを行なってください。



● ご注意

システムアップデート実行中は、メールサービスの停止が必要になります。
運用に問題のない時間帯での実施をお願いいたします。

STEP1 (スタンバイ側を停止状態にして、アクティブ側のシステムアップデートを完了させます。)

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP1-1	<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、SMTPサービス:停止に設定 POPサービス:停止に設定 * 「3.2」 参照 	
SEEP1-2		<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、サーバ本体:電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照
SEEP1-3	<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、冗長化構成:無効に設定 * 「3.3」 参照 ・管理画面より、サーバ本体:再起動を実施 * 「3.1」 参照 	(停止中)
SEEP1-4	<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、システムアップデートを実施 (再起動が実行される場合もあります) * 「3.4」 参照 	
SEEP1-5	<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、サーバ本体:電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照 	
	アクティブ側・スタンバイ側の両方が停止中となります。	



STEP2 (アクティブ側は停止の状態のままで、スタンバイ側のシステムアップデートを完了させます。)

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP2-1	(停止中)	<ul style="list-style-type: none"> ・(LAN1)側ケーブル: 外す  <ul style="list-style-type: none"> ・サーバ本体: 起動(前面のパワーボタンを押す) アクティブ状態で起動されます  <ul style="list-style-type: none"> ・(LAN1)側に クライアントPCを直結し、管理画面への接続を行なう。
SEEP2-2		<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、 冗長化構成: 無効に設定。 * 「3.3」 参照 ・管理画面より、 サーバ本体: 再起動を実施 * 「3.1」 参照
SEEP2-3		<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、 SMTPサービス: 停止を確認 POPサービス: 停止を確認 (停止になっていない場合は停止してください。) * 「3.2」 参照 ・(LAN1)側のクライアントPCと直結していたケーブルを抜き、STEP2-1の最初で外したケーブルをつなぐ
SEEP2-4		<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、 システムアップデートを実施 (再起動が実行される場合もあります) * 「3.4」 参照
SEEP2-5		<ul style="list-style-type: none"> ・管理画面より、 サーバ本体 電源断(シャットダウン) * 「3.1」 参照
	↓	
	アクティブ側・スタンバイ側の両方が停止中となります。	



STEP3 (冗長化構成の再構築を行います。)

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP3-1	・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す)	(停止中)
SEEP3-2	・管理画面より、 冗長化構成:有効に設定 * 「3.3」 参照	
SEEP3-3	・管理画面より、 サーバ本体 電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照	
SEEP3-4	(停止中)	・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す)
SEEP3-5		・管理画面より、 冗長化構成:有効を設定 * 「3.3」 参照
SEEP3-6		・管理画面より、 サーバ本体 電源断(シャットダウン)を実施 * 「3.1」 参照
SEEP3-7	・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す) (通常より少し時間がかかります) ・管理画面より、 アクティブモニター冗長化構成の状態の 稼動状態:”アクティブ”を確認(*1) * 「3.5」 参照	(停止中)
SEEP3-8		・サーバ本体:起動(前面のパワーボタンを押す) (通常より少し時間がかかります) ・管理画面より、 アクティブモニター冗長化構成の状態の 稼動状態:”スタンバイ”を確認(*1) * 「3.5」 参照
アクティブ側・スタンバイ側の両方が起動中となります。		



ご注意

(*1) 画面そのままでは自動更新されませんので、[情報の更新]を行なって確認してください。



STEP4（同期処理を行います。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP4-1	アクティブ側→スタンバイ側への同期処理の完了を待ちます。(*2) [同期完了の確認] アクティブ側の 管理画面で アクティブモニター冗長化構成の状態の 同期状態：“同期が完了しました” となると 同期完了となります。 画面は自動更新されませんので、[情報の更新]を行なって確認してください。	



STEP5（運用を開始します。）

	アクティブ側	スタンバイ側
STEP5-1	・管理画面より、 SMTPサービス:起動を設定 POPサービス:起動を設定 * 「3.2」 参照	

ご注意

(*2) 同期完了を待たずにSTEP5のサービスの起動を行う場合は、より安全に運用いただくために、“同期完了後にサービスを有効する”という流れで手順を推奨しておりますが、運用上、サービスを長時間停止できない場合には、STEP4の同期完了を待たずに STEP5のサービスを起動することも可能です。

この場合、以下の点にご注意ください。

(1)アクティブモニターで 冗長化が黄色(同期中)以外は すべて正常な状態であることを確認した後に実行してください。

(2)同期中は負荷が通常より高い状態となりますので、CPU負荷の状態を監視して、サービスの運用を行なってください。

(3)同期中(同期完了まで)はスタンバイ機への自動切り替わりは動作しません。

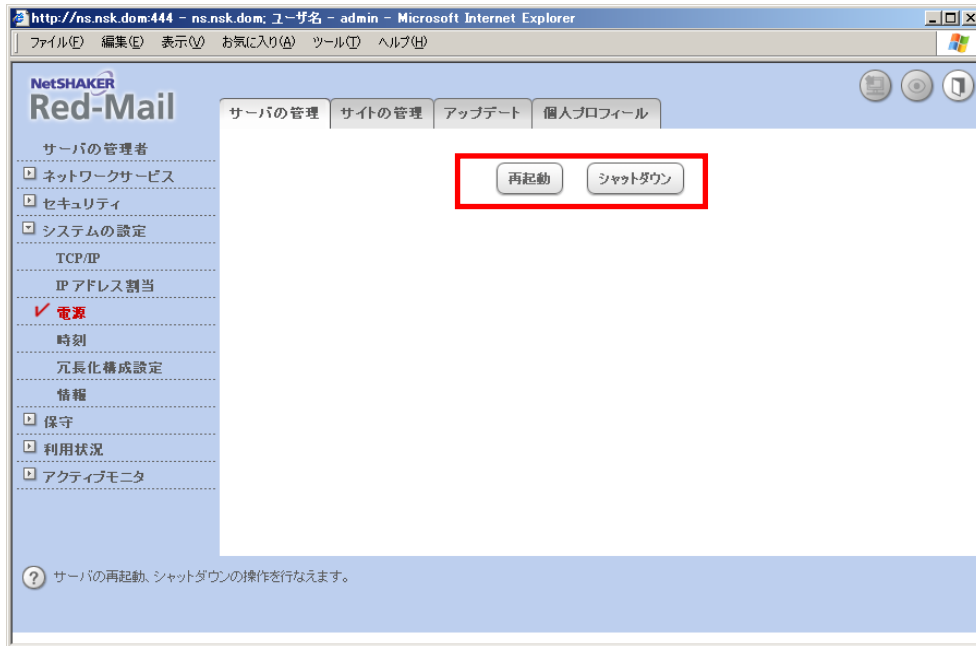
3. 操作詳細

3.1. サーバ本体の再起動・停止(シャットダウン)手順

[サーバの管理] → [システムの設定] → [電源] をクリックします。

「再起動」ボタンを押下すると、「再起動」します。

「シャットダウン」ボタンを押下すると、「サーバが停止(シャットダウン)」します。



3.2. 適用手順 SMTP サービス/POP サービスの起動・停止手順

[サーバの管理] → [ネットワークサービス] → [電子メール] をクリックします。

「SMTPサーバを有効にする」にチェックを付け、[保存]をクリックするとSMTPサービスが“起動”します。

「SMTPサーバを有効にする」にチェックを外し、[保存]をクリックするとSMTPサービスが“停止”します。

「POPサーバを有効にする」にチェックを付け、[保存]をクリックするとPOPサービスが“起動”します。

「POPサーバを有効にする」にチェックを外し、[保存]をクリックするとPOPサービスが“停止”します。

The screenshot shows the NetSHAKER Red-Mail administration interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: サーバの管理者, ネットワークサービス, ウェブ, FTP, 電子メール (checked), DNS, SNMP, シェル, セキュリティ, システムの設定, 保守, 利用状況, and アクティブモニタ. The main content area is titled '電子メールサーバの設定' and has tabs for '基本' and '詳細'. The '基本' tab is active, showing a table of settings for SMTP, IMAP, and POP services. The 'SMTPサーバを有効にする' and 'POPサーバを有効にする' checkboxes are checked and highlighted with red boxes. The '保存' button is located at the bottom of the form.

電子メールサーバの設定	
SMTP	
SMTPサーバを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
SMTPサーバ動作ポート	25 (1 - 65,535)
SMTPSサーバを有効にする	<input type="checkbox"/>
SMTPSサーバ動作ポート	465 (1 - 65,535)
IMAP	
IMAPサーバを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
IMAPSサーバを有効にする	<input type="checkbox"/>
最大許容 IMAP 接続数	1024 (1 - 4,096)
POP	
POPサーバを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
POPサーバ動作ポート	110 (1 - 65,535)
POPSサーバを有効にする	<input type="checkbox"/>
POPSサーバ動作ポート	995 (1 - 65,535)
最大許容 POP 接続数	80 (1 - 1,024)
POPサーバタイムアウト時間(秒)	120 (30 - 1,800)

保存

? 電子メールサーバを設定できます。

3.3. 冗長化構成の有効・無効の設定手順

[サーバの管理] →「システムの設定」→「冗長化構成設定」メニューをクリックします。

「冗長化構成を有効にする」にチェックを付け、[保存]をクリックすると冗長化が“有効”になります。

「冗長化構成を有効にする」のチェックを外し、[保存]をクリックすると冗長化が“無効”になります。

(冗長化構成設定の反映のためには再起動する必要があります。)



The screenshot shows the NetSHAKER Red-Mail administration interface in Microsoft Internet Explorer. The browser address bar shows 'secondary.nsk.dom; ユーザ名 - admin - Microsoft Internet Explorer'. The page title is 'secondary.nsk.dom; ユーザ名 - admin - Microsoft Internet Explorer'. The main navigation menu includes 'サーバの管理', 'サイトの管理', 'アップデート', and '個人プロフィール'. The left sidebar shows a tree view with 'システムの設定' selected. The main content area is titled '冗長化構成の設定' and contains the following settings:

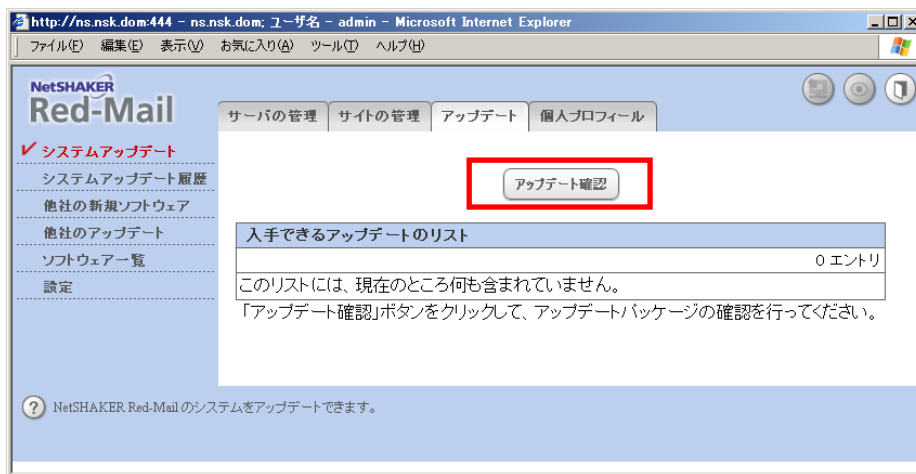
冗長化構成の設定	
冗長化構成を有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>
共通IPアドレス	172.16.39.40
相手サーバ	
ホスト名とドメインネーム	primary nsk.dom ホスト名 ドメインネーム
データ同期IPアドレス	192.168.1.1
スタンバイ用SMTPサーバ	
SMTPサーバのアドレス	172.16.39.40
外部装置監視	
監視対象装置のアドレス (省略可)	

Below the settings is a '保存' (Save) button. A red message below the button reads: '冗長化構成設定を変更した場合は、変更を反映させるため、システムを再起動してください。' (If you change the redundancy configuration settings, please restart the system to reflect the changes.)

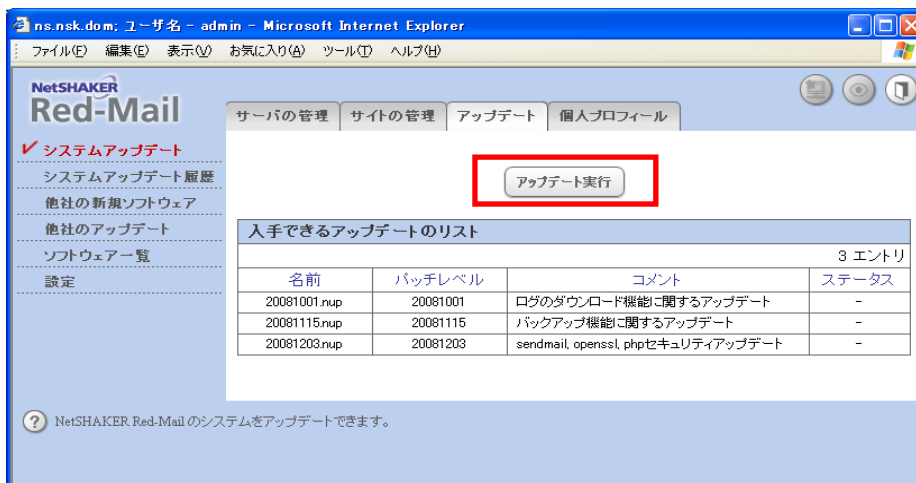
At the bottom, there is a help icon and a note: 'スタンバイ時に管理者に送信されるシステムアップデートの通知メールや警告メールは、SMTPサーバに直接配送されます。通常は、共通IPアドレスを指定します。25番ポートで動作しているSMTPサーバのIPアドレスまたはドメインネームを指定してください。' (When in standby, notification emails and warning emails sent to the administrator are delivered directly to the SMTP server. Usually, the common IP address is specified. Specify the IP address or domain name of the SMTP server operating on port 25.)

3.4. システムアップデート手順

[アップデート] → [システムアップデート]をクリックすると、[システムアップデート]テーブルが表示されます。



「アップデート確認」ボタンを押下すると、最新のパッケージ情報が表示されます。アップデート可能なパッケージがある場合は、画面に一覧表示されます。



アップデート可能パッケージが存在する場合に、「アップデート実行」ボタンを押下すると、一覧に表示されているパッケージを適用します。

パッケージが適用された後に、自動的に再起動が行われることがあります。

3.5. アクティブモニタ確認手順

[サーバの管理] → [アクティブモニタ]を選択すると、[アクティブモニタ]画面が表示されます。

「冗長化構成の状態」が緑の場合 : 冗長化構成が“完了”の状態です。

「冗長化構成の状態」が黄色の場合 : 冗長化構成で“同期中”の状態です。

「冗長化構成の状態」が赤色の場合 : 冗長化構成で“データの同期がとれていない”状態です。

「冗長化構成の状態」が灰色の場合 : 冗長化が“無効”になっています。

システムの動作状況 - 概要

6 エントリ		
▼	コンポーネント名 ▼	詳細
●	CPUの使用状況	🔍
●	ディスクの使用状況	🔍
●	ディスクの整合性	🔍
●	ネットワークの状態	🔍
●	メモリの使用状況	🔍
●	冗長化構成の状態	🔍

サービスの動作状況 - 概要

9 エントリ		
▼	コンポーネント名 ▼	詳細
●	DNS サーバ	🔍
●	FTP サーバ	🔍
●	JSP と Servlets	🔍
●	LDAP サーバ	🔍
●	SNMP エージェント	🔍
●	Telnet サーバ	🔍
●	ウェブサーバ	🔍
●	サーバデスクトップ	🔍
●	電子メールサーバ	🔍

? システムコンポーネントの動作状況を確認できます。

“冗長化構成の状態”の“詳細(虫めがね)アイコン”を選択すると、「冗長化構成詳細」画面が表示されます。

「冗長化構成に関するシステム状況」で“アクティブ”、“スタンバイ”のどちらで動作しているかを確認できます。

The screenshot shows the NetSHAKER BlueRack web interface. The main content area displays the '冗長化構成に関するシステム状況' (System Status for Redundant Configuration) section. The '稼働状態' (Operational Status) row is highlighted with a red border and shows 'アクティブで動作しています。' (Operating in Active state). Other rows include '相手サーバ' (Peer Server) with '相手サーバは起動中です。' (Peer server is starting) and '同期状態' (Synchronization Status) with '同期が完了しました。' (Synchronization is complete).

冗長化構成システム状態の詳細	
現在の動作状況	● 冗長化構成機能は正しく動作しています。
最後に動作状況が変化した時刻	XXXX/XX/XX XX:XX

冗長化構成に関するシステム状況	
稼働状態	アクティブで動作しています。
相手サーバ	相手サーバは起動中です。
同期状態	同期が完了しました。

前回フェールオーバーの詳細	
前回フェールオーバーした原因	
前回フェールオーバーした時刻	

戻る

? 監視されているコンポーネントの現在の動作状況です。